

SSKS

社会福祉法人結の会

オフィス クローバー

o f f i c e c l o v e r



ニュース

20周年
特集号

2015年

草木も色付く 秋号



目 次

(オフィス クローバーのページ)

植替え(緑化推進事業) / 新宿区立障害者生活支援センター見学会 / 沿革勉強会 P 2

防災訓練実施 / 日帰り旅行 P 3

《20周年特集》『私たちの歩み』 P 4~8

『日々の作業風景紹介』 P 9

(社会福祉法人結の会のページ)

理事会・評議員会報告 / 20周年記念事業に向けて P 10

《読み物》『一泊旅行行くなら?』 P 11

投稿作品 / 主な予定 / 編集後記 P 12

~ 次号は2016年1月に発行予定です。お楽しみに!! ~

オフィス クローバーのページ

植替え（緑化推進事業）

夏の緑化一部植替えを行いました。暑さが厳しいため体力の消耗を考慮し、8月4日、21日、25日の3回に分けてニチニチソウ、マツバボタン、センニチソウを植えました。植替え直後から連日続いた雨の影響を大きく受け、根腐れしてしまった花がありとても残念でした。10月下旬には全面植替えをし、秋の装いへと変わっていく予定です。（田中一路）



完成！作業の成果が表れています♪

暑い中みんな頑張っています！！



新宿区立障害者生活支援センター見学会

7月に新宿区立障害者生活支援センターができたことを聞き、「短期入所を使ってみたい」「ゆくゆくは一人暮らしをしたい」など、興味を持つ利用者が多くいらっしゃいました。そこで、8月25日、31日の2回に分けて利用者と職員（計19名）で見学へ行き、実際にお部屋の様子を見させていただきました。（山口）



立派な建物でした。短期入所用の部屋のベッドがとても素敵でした。お風呂も大小2つあり、尚且つ共用部分には冷蔵庫や電子レンジもあったのでとてもゴージャスでした。電話相談をしたことのある職員さんにもお会いできて良かったです。（ゴマちゃん）



沿革勉強会

オフィス クローバー開所から20年の節目を機に、現職員間でオフィス クローバーの沿革についての勉強会を開きました。友利、松田が講師になり、これまでの歩みを振り返ると共に、監事の伊藤善尚さんにもご協力いただいて、精神保健の歴史と昭和49年からの「あさやけ作業所」の活動内容を知ることが出来、大変有意義な勉強会となりました。今があるのは、関係機関のご協力、これまでの職員と利用者の努力の積み重ねの結果で、今後も共に助け合いながら歩んでいけたらと思いました。（西園寺）

防災訓練実施

9月28日に防災訓練を実施しました。今回は初めての試みとして、活動中に地震が発生したと想定し、机の下に入って身の安全を確保し、ヘルメットを装着するまでを実際に行ってみました。訓練後、自宅にいる時や外出時など日常生活において地震が発生した際に気を付けるポイントを確認しました。全員でヘルメットを装着してみると自分の頭のサイズに合わせるのが大変だったり、保管場所に課題があったりと、多くの改善点がありました。皆さん真剣に取り組み、防災への意識を高める良い機会となりました。



ヘルメット装着の仕方確認

（笹島）

日帰り旅行

10月9日に利用者20名と職員7名と理事長の総勢28名で国営ひたち海浜公園と那珂湊ヤマサ水産へ行きました。集合場所は戸塚第二小学校前。予定より少し早く出発しました。行きのバスの中からはサンシャイン60、東京スカイツリーが見えました。目的地の周辺には、一面のサツマイモ畑



赤く染まり始めたコキア

が広がっていました。印象に残っている事は国営ひたち海浜公園の広大さと、コキア畑です。コキアとは、ほうき草の事で秋に緑から赤に色が変わります。訪ねた時には3/4が緑から赤に変わっていました。那珂湊ヤマサ水産ではお刺身定食を食べました。帰りのサービスエリアでメロンゼリーを買いました。楽しく、のびのびできた旅行でした。

（K. K）

コキアが赤く染まってきれいだった。また行きたいなあ。（S）

楽しくバス旅行に行き、みんなと仲良く出来た。これからも行事に参加したい。（M.O）

とても楽しかったです。また今度も皆さんと一緒に行きたいです。（ゆう）



プライベートも含めて久しぶりの旅行。天気も良くて、いい気分転換になりました。（コウちゃん）



◀ 20周年特集 ▶ 『私たちの歩み』

今年はおフィス クローバーが、平成7年に「クラブハウス・ストローク」という名称で精神障害者共同作業所として開設してから20年目の記念すべき年です。秋号と冬号（1月発行予定）の2号続けて、『20周年特集号』と題しいつもよりページ数を増やしてお届けいたします。今号の特集では、法改正とともに事業名や運営方法を変えながらも、精神障害者の「働きたい!!」という気持ちを応援し、一人一人を丁寧にサポートするという姿勢を持ち続けてきた、おフィス クローバーの歩みを振り返りたいと思います。そして新たな未来への一歩へとつなげていきたいです。

平成7年度

「クラブハウス・ストローク」開設（6/1）

※「おフィス クローバー」の開設当初の名称です。

新宿区高田馬場4丁目の(株)ストローク2階をお借りして活動。

グランド・ステータスオカビル2階に移転（9月～）。



グランド・ステータスオカビル外観
2階がクラブハウス・ストロークでした。1階は店舗用の物件。



(株)ストローク外観
開設当初は(株)ストロークの2階をお借りしてスタート。

平成8年度

新宿区よりBランク精神障害者共同作業所（指導員2人以上、通所者数10人以上）として運営費補助金を受ける（4/1）。ワープロ2台、コピー機1台購入。机や棚等は寄贈いただいたものを使用し、少しずつ所内設備を整備。来所時間や滞在時間は登録利用者が自主的に決め、各自のペースで過ごす。利用者が発案した、「歩く会」というプログラムができ、天候の良い日に1時間程散歩に出かけるなどしていた。

平成9年度

新宿区よりAランク精神障害者共同作業所（指導員3人以上、通所者数15人以上）として運営費補助金を受ける（4/1）。常勤職員を3人配置できるようになり運営が安定し始める。



ワープロ入力中

大型金庫・リソグラフ（簡易印刷機）を購入。

ワープロを6台購入（SHARP 書院）。

初めて一泊旅行（箱根）を実施。

(株)ストロークが受託する「新宿区障害者就労福祉センター」からの看板清掃作業の一部を受託。



箱根大涌谷にて

平成10年度



ピザを食べる日

前年度の自主製品売上で購入し皆で食べる。

平成8年より都、区の補助金を受けるようになり3年目。顧問医が、開所当初より務めて下さった小峰和茂先生から高田馬場でクリニックを開業された紫藤昌彦先生にバトンタッチされた。

賃貸物件の管理会社が倒産。契約時に預けた補償金が返還されないことになったが、作業所と家主が直接賃貸契約を行うことになり、活動場所を失うような事態にまではならずにすんだ。

平成11年度

初代施設長金子恭介氏が退職。後任に米田直子氏着任。
他のクラブハウスと交流を持ちつつ、クラブハウスモデルを取り入れていくのか、作業所としての位置づけで運営をしていくのか職員間で検討会を持つ。



昼食会の様子

平成12年度

平成13年度の職員採用予定にあたり、給与表等を作成し、人事労務の整備を進める。

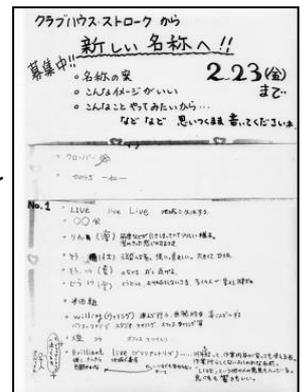
初めて採用試験を行い、新卒職員を雇い入れることを決める。

精神保健福祉士を目指す実習生を受け入れ始める。

(株)ぱどの情報誌配布を開始。4月より月に2回、高田馬場4丁目周辺に配布。

施設名称変更を検討。

利用者にも新名称募集の声掛けを行い、みんなで話し合いを重ねる。



新名称募集の張り紙

「クラブハウス」→世界クラブハウス連盟の規約に則った運営をしている所という誤解を受ける。

「ストローク」→(株)ストローク(精神障害者が働く清掃会社)と混同しやすく、清掃を行っている所と誤解を受ける。

平成13年度

「クラブハウス・ストローク」から「オフィス クローバー」に名称変更(4/1)。

「障害者団体定期刊行物協会」に加盟。第三種郵便としてニュースレターを発送できるようになる。

年間を通して小規模通所授産施設への移行について話合うと共に法人化等の準備を進める。今後の活動方針を明確にするため、利用者が何を求めているのか、利用者アンケートと共に個別面談を実施。

「新宿区障害者就労福祉センター」から受託している看板清掃の本数が増え、29本になる。

自主製品作成者に初めて工賃を支払う(半年に1回)。



看板清掃中

平成14年度

前期は共同作業所として活動し、後期は小規模通所授産施設として活動した。

「社会福祉法人結の会」設立(9/18)。

「社会福祉法人結の会オフィス クローバー」開所。精神障害者小規模通所授産施設として事業を開始する(10/1)。利用定員19名。職員定数3名。

社会福祉法人結の会設立記念交流会開催(12月)。第1部活動報告、第2部パソコンで年賀状作り教室。

新宿区高齢者いこいの家「清風園」食堂の配膳業務受託(8月)。(14年度のみ)

精神看護出版書籍販売業務受託(11月)。(14年度のみ)



清風園配膳業務

平成15年度

法人化後、各種規程を整備。常勤職員3名中2名が相次いで産休に入り（14年11月、15年12月）、職員募集及び採用、職員体制についての話し合いを重ねた。

初めての地域交流活動として「アラムニー音楽お届け便」によるミニコンサートを高田馬場4丁目の施設内で開催（4/19）。

社会福祉法人化したことを機に地域活動への参加を意識し、新規事業として「地域向けパソコン教室」開催（6月）。

平成16年度

4月に非常勤職員を1名採用。6月には産休・育休中だった職員の復帰、常勤職員1名の退職と職員の異動が続いた。職員体制についての検討を重ね、平成17年度の施設長交代を決定した。

昼食会及びお菓子作り中止。生活支援のためのプログラムが減り、パソコン教室などの就労支援のためのプログラムが活発になっていった。

情報誌「ばど」の配布作業委託契約打ち切り。

所内では（株）金融データシステムのデータ入力作業がスタート。所外では、（有）長谷部食品における顧客データ修正作業及びご飯盛り、（株）精神看護出版での清掃作業、新宿区立障害者福祉センター機械管理業務スタート。クリスマスミニコンサート開催（12/18）。

平成17年度

二代目施設長米田直子氏から三代目施設長友利幸湖にバトンタッチ。（4/1）共同作業所として開設してから10周年を迎える。

10周年記念誌発行。10周年記念コンサート開催。

クレイン西新宿ビルで企業内授産事業（現施設外就労）スタート（17年度のみ）。

新宿区社会福祉協議会広報誌ポスティング作業スタート（17年度のみ）。

クロネコメール便配達業務スタート（10月～）。

所内リフォームを行い作業スペースを広げる。

平成18年度

（株）ECAを通じた企業外研修生受け入れ（9月）。

「障害者自立支援法」への移行時期を19年度内とすることに決定。

諏訪通り拡張工事により立ち退き対象となっていることが判明。

当時は品川区八潮にあったヤマト運輸（株）南東京主管支店にて企業内授産事業（現施設外就労）スタート。

細工町高齢者在宅サービスセンター清掃業務スタート。

各曜日に配置したプログラムを撤廃し、各個人に向けた作業（パソコン、紙漉き、ステンシルなど）をいつでも行えるようにした。



地域向けパソコン教室スタート



長谷部食品入力作業



長谷部食品ご飯盛り作業



クロネコメール便配達業務



精神看護出版清掃作業
カギを預かり出勤前に清掃



品川ヤマト企業内授産事業
月水金 9:00～13:00



高齢者施設清掃作業

平成19年度

前期は小規模通所授産施設として活動し、後期10/1より就労継続支援B型事業、地域活動支援センターⅢ型、相談支援事業、居住サポート事業の4事業を運営する。第1康洋ビル8階に引っ越し（9/13）諏訪通り拡張工事に伴う立ち退きについて、補償契約を東京都と取り交わした（9/20）。

平成20年度

常勤1名採用（4/1）。

事業移行し丸1年が経過。主な収入である報酬（訓練等給付費）が2か月遅れのため、法人本部より資金を借り入れながらの運営ではあったが、報酬額が少しずつ安定し始める。

（財）ヤマト福祉財団からの依頼を受け、「クロネコメール便普及啓発DVD」の撮影に協力。

カウンセラーの豊田文子氏に依頼し、4月より「ピアカウンセリング講座」（のちにコミュニケーション講座と改名）を開催。

新たに「ふらっと新宿スポーツセンター店」（7月～）「ファミリーマート新宿スポーツセンター店」（8月～）での仕事スタート。

「新宿区障害者による緑化推進事業」受託（10月～）。

平成21年度

登録者の増加に伴い男子トイレの内装工事を実施。事務用ロッカー入れ替え。

退院促進コーディネート事業受託（21年度のみ）。

毎週月曜日のミーティングで、近所にある公園「せせらぎの里」でのお花見、レクリエーション（ボウリング大会）が提案され、初めて実施。

6年余り受託していた金融データ入力作業終了（12月）。

開所当時より受託していた外務省の外郭団体からの封入作業の2件のうち1件が終了（3月末）。

（財）ヤマト福祉財団主催「クロネコメール便報告会」に利用者と支援者が参加し発表を行う。

平成22年度

常勤職員2名採用（4/1）常勤職員1名退職（H23.3/31）。

（財）新宿区勤労者・仕事支援センターより消火器点検作業を受託（4月～）。

クロネコメール便配達エリアを高田馬場4丁目から3丁目に変更（10月～）。

3/11 東日本大震災発生。計画停電及び原発事故等の情報を受け、3/16～3/18 閉所。出勤可能な職員のみで電話相談等の対応を行った。

外務省の外郭団体からの封入作業最後の1件も終了（3月末）。



第1康洋ビル外観



ピアカン講座風景



H20年頃の花壇



メール便報告会



避難訓練の様子

平成23年度

ヤマト運輸（株）南東京主管支店（品川ヤマト）→新東京主管支店新宿北支店へ施設外就労の現場を移動（4/18～）。

第1康洋ビル8階より、面積が45.4㎡広い7階へ引っ越し（7/14）。
初めて「第三者評価」受審。



就労継続支援B型

平成24年度

就労継続支援B型事業定員を20名→25名に変更。
地域活動支援センター、相談支援事業、居住サポート事業を廃止（3/31）。

平成25年度

「就労継続支援B型事業」のみを定員35名で運営。（4/1）
「障害者優先調達法」施行を受けて、作業受託のためのチラシ『こんな作業できます!!』を近隣企業等に配布。
「進行係」誕生。



第11回クリスマスミニコンサート

第11回クリスマスミニコンサートを第1康洋ビル1階の広い場所をお借りして開催。

職員の資質向上のため「スーパービジョン」実施。

「クロネコメール便」配達業務契約終了（10/31）。

ヤマト運輸（株）新宿北支店の業務について、毎週月曜日を休み、週4日に契約内容変更。



「進行係」

作業開始や休憩時間をフロア全体に知らせ、仕事の流れを作る大切な役割です。

平成26年度

第1康洋ビルB棟1階賃貸契約締結。2回目の「第三者評価」受審。
登録利用者を対象に、各自のニーズに合わせ目標を明確にしたパソコン講座を開催。

生産数に合わせて3か月毎に支払っていた自主製品の工賃を、分給3.5円で毎月支払いとしたことで、参加者が増え生産性が上がる。



ヤマト運輸(株)新宿北支店

平成27年度

共同作業所として開設してから20周年を迎える。
20周年記念誌発行予定。20周年記念コンサート開催予定。
通所10年以上の永年通所者を表彰予定。
所内外作業の目的を明文化。（9ページに紹介）

事業名：就労継続支援B型事業。定員35名。

職員数：常勤職員7名、非常勤職員2名

登録者数：59名（4/1現在）



作業の合間の休憩時間



仕事後のTEA TIME

『日々の作業風景紹介』

写真で振り返る
「みんなで築いた20年」

作業の目的

安心できる場で「共に働く」ことを通して
利用者が自ら力をつけ 望む暮らしを実現することへとつなげていく。

☆☆☆☆☆☆ 目的を踏まえたうえで職員が大事にしていくこと ☆☆☆☆☆☆☆

利用者のペースを大事にする



「とせいれんニュース」入力・印刷・発送作業。

利用者の体調を把握する



平成9年より紙すき作業を実施。現在も継続。

苦楽を共にし一緒に達成感を得る過程を大事にする



平成20年より、「緑化推進事業」受託。新宿中央公園内花壇を整備。

利用者の主体性を尊重する



平成9年より、条例周知看板清掃作業受託。

作業を通し共に社会に参加している実感を得られることを大事にする



平成18年より、細工町高齢者在宅サービスセンター清掃業務受託。

生活のハリへとつなげていく



ベーグルやホットドックを販売していた、ふらっと新宿高田馬場店。

社会性を身につける機会とする



自主製品をバザー会場で販売。

働くイメージを持ってもらう



平成18年より、ヤマト運輸(株)での企業内授産事業スタート。月水金勤務。

利用者ができることを増やす



平成16年より、新宿区立障害者福祉センター内の機械管理業務。

人生の具体的な目標が持てる



平成26年より、新宿コズミックセンター内のコミュニティーショップ「スイング」売り子業務。

社会福祉法人結の会のページ

オフィス クローバーを経営する社会福祉法人の本部です。

理事会・評議員会報告



9月17日に平成27年度(社福)結の会の第2回理事会及び評議員会を開催しました。

5月末から9月末までの事業実施状況報告を行なった後、理事評議員の皆様から質疑応答、ご意見などを頂きました。今回は提出された議案はなく、事務局より10月9日に行われる行事、『国営ひたち海浜公園見学&那珂湊で昼食のバス旅行』に役員の皆様をお誘いし、閉会しました。(松田)



20周年記念事業に向けて

オフィス クローバーは、平成7年6月に精神障害者共同作業所として開設してから、今年で20周年を迎えることが出来ました。これもひとえに地域や関係機関の皆様、ご支援くださっている皆様のおかげと利用者・職員一同心より感謝申し上げます。

20周年を機に日ごろの感謝の思いを皆様にお伝えするため、また、20年の歩みを振り返り、これからのオフィス クローバーを作り上げていくために、20周年記念事業を実施することになりました。

事業の内容は4つあります。1. ニュースレター20周年特集号の発行(本誌のP4~9に特集を掲載)、2. 20周年記念誌の発行、3. 20周年記念コンサート開催、4. 永年通所者表彰です。

記念誌発行は、4月より「20周年記念誌制作委員会」を立ち上げ、話し合いを20回以上重ねています。記念誌のテーマは『思い』です。「オフィス クローバー」に関わるたくさんの方々の『思い』を文字にし、記念誌という形に残していく作業を進めています。コンサートは12月12日に開催し、コンサートの場で永年通所者の表彰と記念品の授与を予定しています。

いろいろな人のいろいろな『思い』に寄り添う事業としたいです。(松田)



20周年記念誌制作委員会

読み物

『一泊旅行行くなり？』



リモコン

毎週月曜日に行われるミーティングは、ここ5週間くらい一泊旅行を取り入れて良いかどうかの話し合いも兼ねていた。5週に渡るくらいなのだからなかなか白黒はっきりさせることが難しかったが、結論から言えば来年一泊旅行を取り入れてみようということになった。

メンバーさんは不安が大きく、自分も不安はゼロではないが、「気が付いたら一泊旅行企画を10年くらいやっていなかった」とスタッフさんが言っていた。「そういえば日帰り旅行ばかりだったね」と。

毎年行っていたなら「ちょっと今年は休もうよ」という気にもなれるが、その逆だ。10年ともなるとスタッフさんもメンバーさんも経験したことない方がほとんどになっている。そう聞いてこれは企画しないとだめではないかと思った。一泊旅行、経験しているのとしていないとでは、いざという時に経験していた方が対応が柔軟にできるからだ。それにみんなでわいわい騒ぐのもプラスになるのではないかと。

行くか行かないかは本人の意思で決めればよいし、自分も現時点では体調面の不安から行けそうにない。が、来年の今頃はどうなっているか分からない。では企画するだけの方がいいではないか。バスを予約するのに一年前じゃないといけならしいので。

じゃあいつ企画してみるのがいいか、今でしょ！

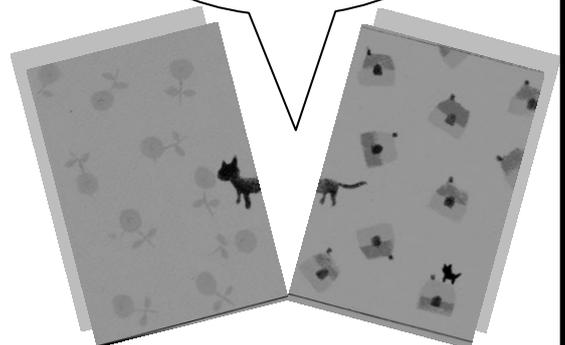
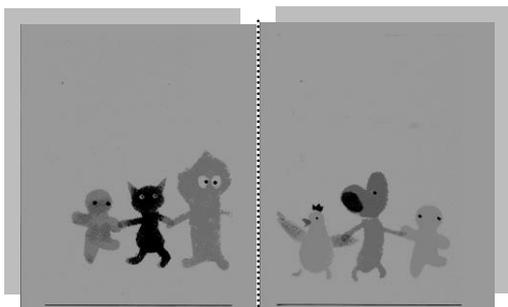
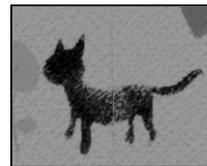


新作!! ペア柄手漉きはがき ♪♪

新柄ハガキの登場です!!今回は2枚のハガキを
合わせると1つの絵になります。全部で4種類。
ふらっと新宿四谷店等で販売中です!!

2枚(別柄) ¥100

つなげるとねこに
なります!!



《投稿作品》

『サッカー』

眩いばかりの光を受けて

校庭を駆けめぐる子供たち

白いボールを追って……

日光はその頬ほほに照り輝き

汗を滲にじませて

子供たちは馳はせめぐる

笑う子供

喘あえぐ子供

叫ぶ子供……

ああ、わたしもその中の一人であったのだ！

ふと過去に身を馳はせるわたし

美しいひととき

午後のひととき

わたしのころもひとつの白球を追って……



淑行

《主な予定》

12月12日 20周年記念クリスマスミニコンサート
12月25日 忘年会
12月28日～1月5日 利用者冬期休暇
1月21日 理事会・評議員会
※毎月25日は工賃日です。印鑑をお忘れなく！

《編集後記》

編集委員を引き受けるにあたって、最初は依頼された時、正直戸惑ってしまいました。何故かと言いますと自分事ではありますが、もっと長く通所している方々がいらっしゃるのに、その方々を差し置いて自分が編集委員になんて……って思いましたし、何より編集と言う仕事に向いてないと思っていましたので。所がやってみますとこれが結構面白くてやり甲斐がありました。もし、また機会がありましたら是非とも編集委員をやりたいと思います。（和泉）

オフィス クローバー 〒169-0075 新宿区高田馬場 3-18-25 第1康洋ビル7階 TEL 03-3365-4177 FAX 03-3365-4178 E-mail yuinokai@axel.ocn.ne.jp http://yuinokai-clover.com/	編集：淑行・森田・池田 和泉・松田・渡邊 イラスト：淑行、他 入力：オフィス クローバー パソコン教室 印刷・発送： オフィス クローバー	発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価 150円
---	--	---